

第7課 希望によって動機づけられる 5月18日

1. キリストの再臨の約束（新約聖書中、300回以上）

- ①ヨハネによる福音書 14章 1～3節。
- ②テトスへの手紙 2章 11～14節。
- ③へブル人への手紙 9章 27～28節。
- ④なぜ、すべてのクリスチャンにとって、イエス様の栄光ある再臨についての私たちの確かな希望は、とても重要なのですか？

2. 栄光のうちに再臨されることについて、イエス様が教えられたこと

- ①マタイによる福音書 24章 27～31節。
- ②ヨハネの黙示録 1章 7節。
- ③栄光のうちに再臨されることについて、イエス様はどんな啓示を使徒パウロに与えましたか？ テサロニケの信徒への手紙 1・4章 13～18節。
- ④地上へのキリストの再臨の特徴に関して、どんな確証を2人の天使は与えましたか？使徒言行録 1章 9～11節。

3. その日、その時を知ることを切望する

- ①イエス様によると、再臨の時について、私たちは知ることができますか？ マタイによる福音書 24章 29～33節。
- ②何人かの人々は栄光のうちにキリストが再臨される日を確定しようとしてきましたが、イエス様はどんな明確な啓示をご自分に従う者たちに与えましたか？ マタイによる福音書 24章 36～42節。

4. ウィリアム・ミラーと大失望

- ①ウィリアム・ミラーとはどんな人ですか。また、聖書の預言の研究から

導き出された確信は、どんなものでしたか？

- ②ウィリアム・ミラーは、どんな聖書解釈の原則に従いましたか？ ペトロの手紙 2・1章 19～21節、使徒言行録 17章 11節、イザヤ書 28章 9～10節、箴言 8章 8～9節、ヨハネによる福音書 16章 13節。
- ③何人かのクリスチャンたちは、聖書預言の研究をさせないようにしています。聖書の預言の研究に関して、使徒ヨハネはどんな約束を与えましたか？ ヨハネの黙示録 1章 1～3節（ダニエル書 2章 45節も参照）
- ④1844年にとても重要な何かが起ろうとしていると、ウィリアム・ミラーが発見したのは、聖書預言のどこですか？（ダニエル書 8章 14節、9章 20～27節）
- ⑤ウィリアム・ミラーは、2300日の預言の終わりに聖所の清めが起ると、いかに解釈しましたか？
- ⑥彼の説教の結果は、どんなものでしたか？（リバイバルと大失望）

5. 大失望から学ぶことのできる教訓

- ①ウィリアム・ミラーは、栄光のうちにキリストが再臨されることの確証について、間違っていましたか？（聖書を使って説明してください）
- ②キリストの再臨の日を確定しようとする代わりに、私たちはイエス様からどんな教訓を学ぶべきですか？ マタイによる福音書 24章 43～44節。
- ③イエス様の栄光ある再臨に備えるために、あなたの人生においてどんな変化をしなければならないと確信していますか？